

学 生 便 覧

平成27年度 新入学生用



大阪府立大学工業高等専門学校



校章の由来

大阪府立を意味することを明らかにするため、外形を大の字にした。その中心におのこの直線を配し「力強い筋金」が入れてあることに注目すべきである。半円形のくぼみをもつ三角形はスパナ、カム、切欠堰などを図案化したものであり、それが5個より成り立っているので、5ヵ年一貫教育の工科系の学校であることを表わす。

学生の皆さんへ

校 長

この学生便覧は、大阪府立大学工業高等専門学校^{（仮称）}の学生として知っておくべき基本的な事項を取りまとめたものです。中学校卒業後5年間の準学士課程（本科）、準学士課程等修了後2年間の学士課程（専攻科）の両教育課程に在籍する学生のために作成されています。

はじめに、本校の使命、教育理念・方針、養成する人材像、達成目標、アドミッション・ポリシー（入学者の受入れ方針）など本校における教育目的が記載されています。次に、本校の教育目的に基づいて編成された、本科および専攻科の教育課程ならびにそれらを履修する上での規程や手続き等が示されています。さらに、学生生活上の定めである学則・学生細則、表彰規程、学友会に関する規程、教育および課外活動等のための施設・設備ならびにそれらの利用方法、各種の事務手続き、年間学校行事計画などが書かれています。

学生便覧には、学生生活に必要な事項が網羅されています。この便覧をよく読み、学習目標を確認し、学習成果を上げ、また、課外活動にも励んでください。

皆さんの学生生活が充実したものとなるよう、私たち教職員一同も全力でサポートします。

校 歌

本校 国語科 作詞
 田中 龍三 作曲
 昭和 49 年度 制定

1 みどりなす いこまやまなみ あおぎみる
 2 ゆうずつの ひかりうけつつ かたらいし
 3 はらからの いきるこのよの さちおおき

こ の ま な び や に つ ど い た り
 と も ま と わ れ と の め つ ご せ い そ う
 み ら い を も と め か が く す る

わ 一 か き ち せ い の き よ ら な る
 き ず な は か た ー く み な ら げ る
 ち し お は も え ー て と こ し え の

ま な こ を あ げ て きょう も ま た
 と う し を あ ひ め て きょう も ま た
 り そ う を む ね に あ す も ま た

ま な び に は げ む } その な も お お さ か ふ り つ こ う せん
 だ い ち を か け る }
 せ か い の そ ら へ }

その名も	雄飛せん	永久の <small>とこしへ</small>	科学する	幸多き	同胞の <small>はらから</small>	その名も	明日もまた	漲れる <small>みなぎ</small>	五星霜 <small>せいそう</small>	語らひし	夕星の <small>ゆよつつ</small>	その名も	今日もまた	清らなる	集ひたり	仰ぎみる	緑なす
大阪府立高専	世界の空へ	理想を胸に	血潮は燃えて	未来を求め	生きるこの世の	大阪府立高専	大地を駆ける	闘志を秘めて	絆は固く <small>きづな</small>	友と我との	光受けつつ	大阪府立高専	学びに励む	眼をあげて <small>まなこ</small>	若き知性の	この学び舎に <small>や</small>	生駒山脈 <small>やまなみ</small>

目 次

大阪府立大学工業高等専門学校¹の教育目的

使命（ミッション）・教育理念・教育方針	1
養成する人材像	2
達成目標	3
アドミッション・ポリシー	6

I 本校の概要

1 大阪府立大学工業高等専門学校について	9
2 沿革	9
3 校地・建物・平面図	11
4 組織編成	25
5 教職員の勤務時間と授業時刻表	27

II 学則・学生細則等

1 学 則	29
2 学 生 細 則	47
3 学生生活注意事項	50
4 研 究 生 規 程	55
5 聴 講 生 規 程	57
6 表 彰 規 程	59
7 精励賞授与規程	60
8 さいわい賞授与規程	61
9 TOEIC 受験奨励制度内規	62

III 本科（準学士課程）

1 教育課程の編成方針と各コースの概要	63
2 教育課程等について	67
3 インターンシップの履修に関する規程	71
4 特別活動の履修に関する規程	72
5 成績評価・学年の課程修了及び卒業の認定等に関する規程（評価認定規程）	74
6 本校以外の教育施設等における学修規程（特別学修）	78
7 公 欠 規 程	82
8 通学が困難な場合の措置	82

IV 専攻科(学士課程)

- 1 専攻科とその特色 85
- 2 専攻科コースの概要 85
- 3 専攻科の教育課程について 87
- 4 専攻科の成績評価及び修了の認定等に関する規程（専攻科評価認定規程） 88
- 5 課題探求、インターンシップ及び工学特別研究の展開 91
- 6 その他（準用事項） 92

V 「総合工学システム」教育プログラム

- 1 はじめに 93
- 2 履修対象者 93
- 3 「総合工学システム」教育プログラム修了要件 94

VI 学 生 生 活

- 1 奨学金制度について 97
- 2 授業料の減免について 98
- 3 保健衛生・災害給付について 102
- 4 悩みの相談等について 104
- 5 セクシュアル・ハラスメントの防止と対応について 105
- 6 アルバイトについて 107
- 7 進路指導について 107
- 8 食堂について 107
- 9 学生旅客運賃割引証について 108

VII 図書館及び情報システム統括室

- 1 図書館について 111
- 2 情報システム統括室について 118

VIII 材料評価室

- 1 材料評価室について 121

IX 体 育 施 設

- 1 体育施設の使用について 123
- 2 体育館使用心得 124
- 3 武道館使用心得 125
- 4 水泳プール使用心得 126
- 5 運動場使用心得 127

X 防犯及び防災

- 1 火 災 129
- 2 地 震 130
- 3 不審者侵入 130

XI 事 務 手 続

- 1 学生生活に関する事務機構について 131
- 2 諸証明等の申し込み手続きについて 132
- 3 各種願出・届出等の手続きについて 133
- 4 授業料等の納入について 136

XII 学 友 会

- 1 学友会会則 139
- 2 評議委員会並びに常務委員会運営細則 154
- 3 クラブ管理委員会運営細則 155

XIII 同 窓 会 会 則

- 1 同窓会会則 157

大阪府立大学工業高等専門学校教育理念・目標

大阪府立大学工業高等専門学校の目的及び使命について、学則の第1条に次のように定められている。

大阪府立大学工業高等専門学校は、ものづくりの街大阪において、深く専門の学芸を教授し、創造力のある実践的技術者を養成することを目的とし、その教育及び研究の機能を活かして、地域及び産業の発展に寄与することを使命とする。

これを達成するため、本校に在学しているあいだに身につけてほしいもっとも基本的な資質を、3つの言葉で表現したのが「教育理念」です。

教育理念

自律・実践・協調

「教育理念」をより具体的に説明したものが「教育方針」です。

教育方針

「自律」は、心身を鍛え、自らを律し、物事を多角的に理解できる幅広い視野と教養を基礎として、目下の課題を自覚し、それを達成するために、自ら考え、学び、行動できる自律性をもった人材を養成することを意味します。

「実践」は、学び考えたことを、積極的に行動にうつし、たとえ失敗してもその失敗を活かして、目的を達成するためのよりよい方法と結果をめざす、進取の気性と向上心をもった人材を養成することを意味します。

そして、「協調」は、社会や組織のなかで、自らの役割や責任を自覚し、異なる考えや立場をもった他者とも対話をもって共通理解をつくり、協力して取り組むことのできる社会性と、リーダーシップをもった人材を養成することを意味します。

これが、学習・生活・進路など、学校生活のあらゆる場面で本校教職員が共通に持つ教育方針であり、自律した人間たれ、チャレンジ精神旺盛に実践せよ、社会のなかでリーダーシップをもった人材たれという、学生諸君へのメッセージです。

養成する人材像

「教育理念」「教育方針」にもとづき、本校の教育課程を通じてどのような人材を養成することをめざしているかを示すのが「養成する人材像」です。

本 科(準学士課程)で養成する人材像

ものづくりの場でのリーダー的資質を備えた創造力のある実践的な技術者

【機械システムコース】

ものづくりをトータルに支える柔軟な思考力を持つ機械技術者

【メカトロニクスコース】

機械と電気とコンピュータを総合化してシステムを作るメカトロニクス技術者

【電子情報コース】

情報化社会において活躍できる創造性豊かな電子情報技術者

【環境物質化学コース】

ものづくりの根底を支え、環境に配慮しながら物質や生産プロセスを創造できる化学技術者

【都市環境コース】

幅広い視野を持ち、環境に配慮した都市を創造できる建設技術者

専攻科(学士課程)で養成する人材像

ものづくりの場でのリーダー的資質を備えた、創造力があり、国際的に通用する実践的な開発・研究型技術者

【機械工学コース】

ものづくりをトータルに捉え、エネルギーや環境問題のような社会システムに対応できる開発・研究型機械技術者

【電気電子工学コース】

情報化社会において活躍できる創造性豊かな開発・研究型電気電子技術者

【応用化学コース】

ものづくりの根底を支え、環境に配慮しながら物質や生産プロセスを創造できる開発・研究型化学技術者

【土木工学コース】

幅広い視野と深い専門知識を持ち、環境に配慮した都市を創造できる開発・研究型建設技術者

達成目標

本校の教育課程、日々の授業、その他学校での諸活動を通じて、最終的に身につける目標が「達成目標」です。

A～Dの大項目で柱となる4項目を表現し、それぞれの大項目をより具体化して表現したのがA-1～D-2の小項目です。

本科 達成目標

A 豊かな人間性と社会性

- A-1 社会の仕組みや歴史・文化についての基礎知識を身につけ、技術と人間とのかかわりについて理解する
- A-2 言語文化についての基礎知識と、日本語による口頭・記述での表現力および基本的な英語能力を身につける
- A-3 スポーツや芸術の体験的学習を通じて技能と柔軟な表現力を身につける

B 数学・自然科学・情報の基礎知識と応用する能力

- B-1 数学や自然科学の基礎知識を身につけ、応用することができる
- B-2 情報技術に関する基礎知識と技術を身につけ、基礎的な解析やデータ処理ができる

C ものづくりの基礎となる知識と技術の修得

- C-1 基礎的専門知識と技術を身につける
- C-2 地球環境への影響や社会の要求を理解できる

D ものづくりを、計画的かつ組織的に遂行する総合化能力

- D-1 ものづくりの工程を体系的に理解し、他者と共通認識を形成しながら仕事を遂行するための基本を身につける
- D-2 必要な知識を主体的に身につけながら課題にとりくむ

専攻科 達成目標
(「総合工学システム」教育プログラムの学習・教育目標)

A 豊かな人間性と社会性

- A-1 社会の仕組みについての知識を基礎として、技術と社会とのかかわりについて理解し、思考できる
- A-2 言語・文化の違いをふまえて物事を理解し、日本語による口頭・記述での論理的な表現力および英語によるコミュニケーション能力をもつ

B 数学・自然科学・情報の基礎知識と応用する能力

- B-1 数学や自然科学の知識を応用して基礎的な課題を解決することができる
- B-2 情報技術に関する知識をもち、事象を数理的にモデル化し解析やデータ処理ができる

C ものづくりの基礎となる知識と技術の修得

- C-1 専門知識と技術を身につける
- C-2 地球環境への影響や社会の要求に配慮できる

D ものづくりを、計画的かつ組織的に遂行する総合化能力

- D-1 ものづくりの工程を体系的に理解し、他者と共通認識を形成しながら、組織的に仕事を遂行できる
- D-2 ものづくりの課題を自ら理解・発見し、必要な知識を主体的に身につけながら、計画的に仕事を遂行できる

なお、平成20年度から日本技術者教育認定機構（JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education）より大学と同等の技術者教育プログラムとして認定を受けた「総合工学システム」教育プログラムの学習・教育目標は、専攻科の達成目標と同じです。専攻科を修了すれば達成される設計になっています。

（「総合工学システム」教育プログラムの詳細は第V章参照）

専攻科の学習・教育目標と JABEE 基準 1 の (2) の学習・教育目標との対応

基準 1 の (2) 学習・教育目標		(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
		(A)	A-1	○	◎					
	A-2	○					◎			
(B)	B-1			◎						
	B-2			◎						
(C)	C-1				◎					
	C-2	◎	○			○				
(D)	D-1					◎	○		○	◎
	D-2				○		○	◎	◎	○

※2012 年度認定基準対応

JABEE 基準 1-(2) の学習・教育到達目標

日本技術者教育認定機構（JABEE）が定める JABEE 基準 1 の (2) の学習・教育達成目標は、以下の項目です。

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果，及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解
- (c) 数学及び自然科学に関する知識とそれらを応用する能力
- (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
- (e) 種々の科学，技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力，口頭発表力，討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的，継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め，まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

アドミッション・ポリシー

本科(準学士課程)のアドミッション・ポリシー

1 入学してほしい学生像

- (1) 興味・関心
 - ・ものづくりに興味・関心のある人
 - ・情報通信・地球環境・エネルギー問題に興味・関心のある人
- (2) 資質・性格
 - ・何事にも積極的に取り組めるチャレンジ精神の旺盛な人
 - ・いろいろな人と協力して行動できる人
- (3) 能力
 - ・理科・技術・数学・英語等が得意な人

2 入学後どのような教育を行うか

- (1) 2年次までは、一般科目および工学基礎科目を共通に学んだ後、3年次からは、配属されたコースにおいて専門工学分野の知識・技術を教育する
- (2) 一般科目等の学習によって社会人としての基本的素養を身につけさせるとともに、特別活動および学友会・クラブ活動等の課外活動を通して豊かな人間性を養う
- (3) 実験・実習などの体験的学習に重点をおいた専門科目の教育を通して、ものづくりおよび専門工学分野の基礎知識と基本技術を確実に定着させる

3 どのような教育成果を目指しているか

- (1) 技術課題を自ら見出し、創造性を発揮して総合的に解決できる実践力を身につける
- (2) 論理的に考え、それに基づいて自己表現およびコミュニケーションができる能力を身につける
- (3) ものづくりにおける指導者としての基本的能力を身につける
- (4) 技術者としての地域社会や地球環境に対する社会的責任を自覚して、行動できる資質を身につける

本科(4年次編入学準学士課程)のアドミッション・ポリシー

1 編入学してほしい学生像

- (1) 興味・関心
 - ・ものづくりに興味・関心のある人
 - ・情報通信・地球環境・エネルギー問題に興味・関心のある人
- (2) 資質・性格
 - ・何事にも積極的に取り組めるチャレンジ精神の旺盛な人
 - ・いろいろな人と協力して行動できる人
- (3) 能力
 - ・理科・技術・数学・英語等が得意な人
 - ・企業現場等学校外の学習の場でも積極的に活動でき、また社会的常識を備えた人

2 編入学後どのような教育を行うか

- (1) 編入時に配属されたコースにおいて専門工学分野の知識・技術を教育する
- (2) 一般科目等の学習によって社会人としての基本的素養を身につけさせるとともに、特別活動および学友会・クラブ活動等の課外活動を通して豊かな人間性を養う
- (3) 実験・実習などの体験的学習に重点をおいた専門科目の教育を通して、ものづくりおよび専門工学分野の基礎知識と基本技術を確実に定着させる

3 どのような教育成果を目指しているか

- (1) 技術課題を自ら見出し、創造性を発揮して総合的に解決できる実践力を身につける
- (2) 論理的に考え、それに基づいて自己表現およびコミュニケーションができる能力を身につける
- (3) ものづくりにおける指導者としての基本的能力を身につける
- (4) 技術者としての地域社会や地球環境に対する社会的責任を自覚して、行動できる資質を身につける

専攻科(学士課程)のアドミッション・ポリシー

1 入学してほしい学生像

- (1) 興味・関心
 - ・ものづくりへの目的意識が明確な人
 - ・選択したコースの専門工学分野に関心があり、その分野で学士の学位を取得したい人
- (2) 資質・性格
 - ・何事にも積極的に取り組めるチャレンジ精神が旺盛な人
 - ・自分で計画を立てて、ものづくり学習に打ち込める人
 - ・異分野を含めた周囲の人達と協力してものづくりに取り組める人
- (3) 能力
 - ・しっかりとした基礎学力と専門的な知識・技術を持つ人
 - ・企業現場等学校外の学習の場でも積極的に活動でき、また社会的常識を備えた人

2 入学後どのような教育を行うか

- (1) ものづくり教育を全コース共通に行うとともに、選択したコースに対応する工学分野の学士の学位を取得できる工学専門教育を行う
- (2) 府内の企業等と協力した新しい発想によるOJT(on-the-job training: 実地訓練)に基づいて、技術課題を自ら発見し、それらを創造的・総合的に解決できる能力を育成する
- (3) 全コース共通の工学システム科目群を通して、ものづくりにおける構想、開発、設計、製造、運用などの全工程の役割を理解し、工学システムデザインができる能力を育成する
- (4) 社会人には工学システム科目群および各専門コース科目の学習により、社会人として培われた技術をさらに深化させるブラッシュアップ教育を行う

3 どのような教育成果を目指しているか

- (1) 技術者としての地域社会および地球環境に対する責任を自覚して、行動できる能力を養成する
- (2) 自らの専門技術を基盤として、他の領域や境界領域の技術を統合して独創的な技術を開発する総合化能力を身につける
- (3) 自ら発見した問題を、自ら解決でき、問題によっては異分野の技術者をコーディネートして解決する能力を身につける
- (4) ものづくりにおける全工程の役割を体系的に理解して、実践的に行動できる能力を身につける
- (5) ものづくりにおけるデザイン能力を身につける
- (6) 日本語および英語によるコミュニケーション能力を身につける